

大会規約

得点	ポイント	優劣	懲罰	減点ポイント
			注意	
有効	+ 1	=	警告	- 1
技有	+ 2	=	反則注意	- 2
一本	+ 3	=	反則(反則負)	- 3

《判定基準規定》

【有効(ポイント1)】

- 以下のそれぞれの条件に「気合」と相手との距離を取って「残心」が伴ったものを有効とする
- ・上段に禁止技をのぞく蹴り技がクリーンヒットした打撃
 - ・しかけた技(ヒッカケ/サバキ/崩し/軸足払い)で相手を転倒させると同時に下段突き(寸止め/当てると倒れた相手への攻撃で危険行為の反則)→転倒させられた相手による下からの蹴り上げは認める→相手が自らの技を仕掛けたことによる転倒への下段突きは『有効』と認めない
 - ・自身の蹴り技が相手にヒットし相手が大きく転倒した場合→気合と残心をとった場合は「有効」とする場合がある

【技有(ポイント2)】

- ・ダウンをしなくても相当のダメージを認めた場合
- ・有効を2回取った場合

【一本(ポイント3)】

- ・ダウンするか一時的に戦意を喪失した場合
- ・技有を2回取った場合
- ・有効を3回 又は技有1回と有効1回を取った場合
- ・主審・医師が試合続行不可能と判断した場合

【同点の際の判定基準】

態度、闘争心、力強さ、戦略の優劣、技術の優劣、しかけた技の多さ、中段以上の蹴りの多さ、技有には至らないダメージの有無、等で判断される。
※有効(ポイント1)あるいは警告(減点ポイント1)があっても、上記基準の優劣により判定で相殺される場合もあり得る。
※体重差を利用して前へ出る行為は判定での優先順位が低い。

《試合時間》

〈準決勝まで〉

	本戦	延長戦
小学1～3年	1分	1分
小学4～6年・中学	1分半	1分
一般	2分	2分

〈決勝戦〉

	本戦	延長戦	再延長戦
	1分	1分	1分
	1分半	1分	1分
	2分	2分	1分

延長以降はサドンデスルール(有効ポイント1又は減点ポイント1が課せられた時点で終了)とする。
また、最終延長戦はどちらかに旗をあげるマストシステムとする。(体重判定は行わない)

●各自用意 ○主催者用意 △任意着用 ×着用不要

防具	男子				女子	
	小学生	中学生	一般 チャレンジB	一般 チャレンジA	小学生	一般 チャレンジB
マウスピース	△	△	△	△	△	△
拳サポーター(布製)	●	*●	*●	*●	●	*●
パンチンググローブ	×	*●	*●	*●	×	*●
スネサポーター(布製)	●	●	●	●	●	●
ヒザサポーター(布製)	●	●	●	●	●	●
金的ファールカップ	●	●	●	●	×	×
ヘッドガード	○	○	○	×	○	○
心臓震盪予防用インナーチェスト	△	△	×	×	△	×
スポーツブラ	×	×	×	×	×	●
アンダーガード	×	×	×	×	●	●

《禁止行為規定》

禁止行為はカテゴリー1とカテゴリー2に分類される

◆カテゴリー1:(危険行為/負傷につながる禁止行為)◆

- ◎顔面(首含む)への手技・頭突きでの攻撃
- *故意あるいはダメージのある顔面殴打の場合、注意を通り越して減点ポイント1となる場合がある
- ◎上段膝蹴り
- ◎金的・女子の下腹部への攻撃
- ◎主審の「やめ」の後での攻撃
- ◎腰から上へ持ち上げての投げ
- ◎背後から正中線への攻撃
- ◎倒れた相手へ直接攻撃を当てること
- ◎その他主審が危険と判断した場合

◆カテゴリー2:(違反行為/試合の進行を妨げる禁止行為)◆

- ◎相手の道衣をつかむ(ヒッカケ/サバキ/崩しあり)
- ◎首相撲
- ◎クリンチを仕掛ける事
- ◎故意に場外へ逃げる事
- ◎頭部、首へのかかえこみ(一般は除く)

【失格】◎試合中、審判員の指示に従わなかった場合

- ◎出場時刻(試合開始時間)に遅れた場合
- ◎各階級の規定体重をオーバーした場合(2キロ未満は減点ポイント1、2キロ以上は失格)

■減点ポイント基準■

【注意(減点0)】

- ・はじめの軽微な禁止行為

【警告(減点ポイント1)】

- ・注意が与えられた後の禁止行為
- ・ダメージを伴う禁止行為

【反則注意(減点ポイント2)】

- ・警告が与えられた後の禁止行為
- ・大きなダメージのある禁止行為
- ・減点ポイントが累積された場合

【反則=反則負け(減点ポイント3)】

- ・反則注意が与えられた後の禁止行為
- ・試合続行不可能なダメージのある禁止行為
- ・減点ポイントが累積された場合

※懲罰はカテゴリー毎に累積され、減点ポイントはカテゴリーを超えて累積される。

☆注意事項

- ◎競技判定において、審議を必要とする場合の最終決定権は大会会長にある。
- ◎審議内容については各コート主審が説明。決定にはいかなる抗議も受け付けない。
- ◎大会会場及び試合中に生じた負傷・事故については競技者の自己責任となる。この件について主催者は一切の責任を負わない。当日は大会ドクターあり。
- ◎大会会場・控室のゴミ・ペットボトルは各自で持ち帰ること。

- ◎個人で公式ヘッドガードを持っている場合は、使用可能。
- ◎女子のTシャツは白の無地に限る。(胸に正道会館のマークか文字のみ認める)
- ◎金的ファールカップとアンダーガードは必ず道衣の下に着用。(アンダーガードとは女子の下腹部を防護するサポーターで今大会より着用義務)
- ◎拳頭部へのテーピングは、裂傷がある場合にのみ認める。試合前に各コートの選手係にチェックを受けておくこと。それ以外の箇所へのテーピングは選手係のチェックは不要。
- ◎*中学生と一般はパンチンググローブか拳サポーター(布製)、どちらでも選択可能。